



学校だより

令和2年11月30日
横浜市立東戸塚小学校

《学校教育目標》 自ら学び 人とかかわり 創り出す子

ありのままの自分に向き合って

校長 南部 礼子

1948年12月10日に国際連合で「世界人権宣言」が採択されました。1950年12月4日に総会が開かれ、日本では12月4日から10日までを人権週間としています。

人権週間に寄せて、ヨシタケ シンスケ作「ぼくのニセモノをつくるには」の絵本を思い浮かべました。主人公の3年生が、やりたくないことを自分の代わりに全部やってくれるロボットを買います。そして、ニセモノだとバレないように、ロボットに自分しか知らない自分のことや、逆に自分が知らない自分のことも予想しながら教えていきます。「うーん…ぼくってなんだろう…」「じぶんのことを かんがえるのって めんどくさいけど なんかつよつと たのしい気もする。」5年ほど前ことです。この絵本を読んだ2年生の子が、自分のことを知りたいと思い、はじめに自分の好きなことや上手なこと、きれいなことを考えました。次に、姉、双子の弟にと次々に家族に聞いていきました。その後、感想文に「みんなから見たぼくは、ぼくの思うぼくと少しちがっていました。ぼくが一人しかいないのに、みんなから見たぼくのはたくさんあってぼくが何人もいるみたいで、とても不思議でおもしろいと思いました。」「ぼくは、どんどん大きくなって、いつか大人になります。たくさんの人に知ってもらって、そしてぼくの中のぼくのことを知っていったらいいなあと思いました。」と記しました。以前、宿泊体験学習でお世話になった片品村の宿の方の言葉が印象深く残っています。宿に入る前の挨拶で、複数の子どもたちが「人見知りなので、片品村での人とのかかわりの中で、そのことを克服したいです。」と話したことに対して、その方は「皆さんは人見知りではありません。なぜなら今それを人前で示したからです。自分のことは自分ではわかりにくいものです。でも周りの人がきちんと見ていて分かってくれるものです。」

私は小学生の頃を思い出しました。小学校1年生の頃の自分は実にマイペースな子どもでした。下校時に友達と2人で教室にのんびり留まっていた。何をしていたのかは記憶にありません。その状態は毎日続いていたように思います。当時は担任の先生には迷惑を、帰りを待つ母には心配をかけていることに気付くことはありませんでした。中学校でバレーボール部に入部してしばらく経った時のことです。父が何気ない会話の中で「ボールが落ちてからレシーブをしようと手を出しているのかな。」と、にこやかな表情で口にしたことがありました。ああ自分はそのように見えているのかと、その時はじめて気付きました。そうだからと言って、父からは「こうしなさい」とか「直しなさい」という言葉をかけられたことはありませんでした。ですから、自分を否定することなく、マイペースでゆったりとした自分を受け入れられたのかもしれない。

先日読んだ月刊誌に、一枚の紙に例えた文章が掲載されていました。「紙の『表』を大きくすれば、『裏』も大きくなります。逆に『表』を半分にするれば、『裏』も半分になります。『表』を大きくして『裏』を小さくするのは原理的に無理ですね。」と。前述の感想文の中に、家族から「いつもにこにこしている」、「ときどきがんこ」、「マイペース」など、表と裏に当たるような見方が出てきます。どちらの自分も自分であることに他なりません。子ども自身が、ありのままの自分を受け入れられるには、安心してありのままの自分を表現することができる人が周りにいることが必要です。

「あゆみ」を12月25日にお渡しする予定です。「あゆみ」の話題を始まりにして、お子さんが自分では気付かない自分のことを知る、ありのままの自分を受け入れる、そして、自分の中の自分をつくり続けていく、一つの場になることを願います。

【 主体的な学びの実現に向けた授業づくり。Ⅲ 】

先月号に続き、本校での算数科重点研究での子どもの学習の様子をご紹介します。

1年生 かたちあそび

今回は、様々な形の箱を高く積み上げる活動を通して、形の特徴や機能性を見つける授業を行いました。立方体、直方体、円柱、角柱、球体という立体を、形に着目して子どもたちなりに名前を付け、積み上げる活動では、箱を何度も積みなおしては、どうしたら安定して高く積めるのかをグループで話し合い、考える姿が見られました。

まとめの際には「ふっくらまる（球体）の上には積み重ねられないから、一番上に乗せるといい。」「ながしかくまる（円柱）を脚みたいにすると、グラグラしないで高く積むことができる。」といった、高く積み上げる工夫を、子供たちなりの言葉で表現することができました。

実際に手を動かして、ものを作っていくという体験を通して、問いを見つけ、そして課題解決の方法を主体的に探そうとする姿が見られる授業となりました。

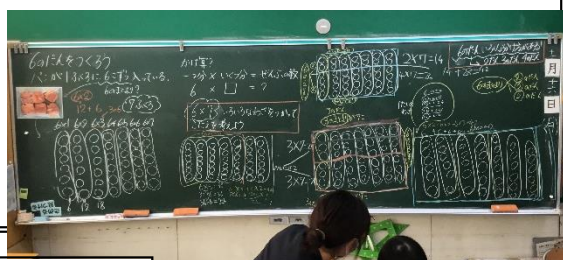


2年生 新しい計算を考えよう(かけ算)

今回の授業では、既習である乗法を用いて6の段を構成して、その過程で6の段について成り立つ性質を理解することをねらいとしています。

子どもたちは、「 6×7 」の課題に対して、「7の段をまだ習っていないから、 7×6 のひっくり返しの「技」は使えない。どうやって答えを考えたらいいんだろう。」と問いをもち、いろいろな「技」を使って 6×7 の答えの出し方を考えました。

授業後半では、友達の6のまとまりを分けるというアイデアを生かし、6のまとまりを2と4に分けたり、6を2と2と2に分けたりと多様な考え方を出し合うことができました。「まだ1の段は習っていないけど、1と5にも分けられるのかな」と新たな問いを生み出す姿から、今後の学習への意欲も感じられました。



かけ算のきまりを活用すると、5の段の答えが2の段と3の段で表せることがアレイ図を使う活動を通して理解でき、「5の段と2の段、3の段には何か関係があるのだろうか」という問いをもつことができました。九九の表を見ながら2の段と3の段の答えをたすと、5の段の答えになることに気付くことができました。

この授業の最後に「この方法を使うと6の段の九九もつくることができそう」という子どもたちのつぶやきから次時への学習のつながりが感じられ、かけ算を活用していこうとする意欲が見られました。



4年生 四角形の特ちょうを調べよう

今回は工事現場や駐車場の出入り口に利用される柵に見立てたものを動かしながら、これまで学んできた図形の見方を使って、平行や垂直の特徴に気づくことをねらいとしています。

柵を見せると、目をきらきらさせて自分の柵を作り、動かしながら形や角度の変化、直線の並び方に目を向けて、ノートに気づきを書きだしていました。「上下や左右に同じ柵をつなげることができるよ。」「広げていくと正方形になるときがあるよ。」「正方形になると、直角が全部で16個になるよ。」「直線と直線の幅がいっしょ。」と、たくさんの気づきを友達に説明し、みんなでさらに質問したり実際に確認したりしながら、共有をしていました。

授業後、ここでの気づきをもとに平行や垂直の特徴を確認しました。柵での気づきがあるので、子どもたちの中での平行や垂直の理解も実感を伴ったものになりました。



平行四辺形の特徴を使って、方眼用紙に頂点が3つだけあり、4つ目の頂点をどのようにして決めるかを考えて平行四辺形となる点を打ちました。発表では、根拠を明らかにする説明を聞き、「そうそう。」と相槌を打つ子や頷く子、「そこに頂点Dを打つんだね。」と、自分の考えと違う答えに驚く子もいました。学級のみんなで考えることで、最初の3つの点から、3つの平行四辺形を作図することができました。

日常生活の中でも学習したことを生かして、平行や垂直があるものを探そうとしたり、平行や垂直がなぜ多くの場面で使われたりしているのかを考えるきっかけになる学習となりました。

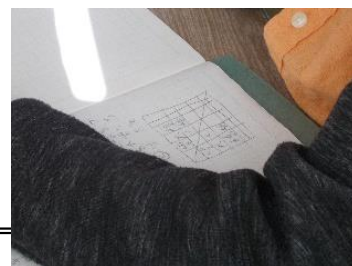


6年生 並べ方と組み合わせ方

並べ方や組み合わせについて、落ちや重なりのないように、起こり得る場合を順序よく整理するための図や表の使い方を理解し、順序よく整理する観点を決めて落ちや重なりなく調べる方法を考える力を養うことをねらいとして、授業を行いました。

3組の「並べ方」の導入では、スポーツフェスティバルのリレーで決めた走順は実際に走ったものの他にどんなものがあったのだろうかという、子どもにとってイメージしやすい身近な題材を設定しました。「他にもたくさんありそう・・・」という子どものつぶやきから授業を展開し、少ない人数から考えることで2人のときと3人のときでは、構造的に同じ部分があるということに気付くことができました。

どうして落ちや重なりがないと言えるのかという問いに対して、一人一人が自分なりの言葉で説明しようとする姿がたくさん見られました。一人の子どもが説明をするとそれを聞いてうなずいたり、考えを理解しようとしたり友達と関わり合いながら学習することができるようになってきました。



6年生 四角形の持ちょうを調べよう

前述の3組同様のねらいで、5組は「組み合わせ方」の学習を行いました。5つから2つ選ぶ場面と3つ選ぶ場面を比較し、組み合わせのパターンの数が同じだと気付くことで、「なぜ同じなのか」という子どもたちの問いが生まれました。

校外学習「ふじさんぽ」に持っていくおにぎりを選ぶという身近な場面を設定することで、「3つ持っていくと、2つを家に置いていくことになる。」「2つ選んだ時には、苦手な味3つを先に除いている。」など、日常の場面をイメージしながら考えることができました。また、言葉だけでは伝わりにくい場合も、表や図を使いながら、説明することで、より分かりやすく説明できることにも気付くことができました。授業が終わった後も、友達同士で考えたり説明し合ったりする姿がありました。



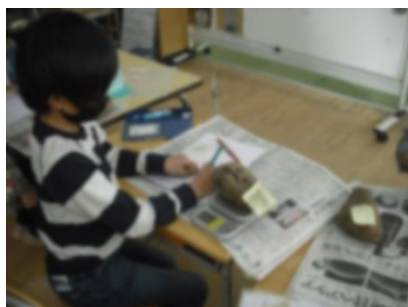
7組 長さと重さ

自分たちの畑で育てたサツマイモを使って、長さや重さについての感覚を豊かにしながら理解を深めることをねらいとして授業を行いました。

Aグループは、とれたイモの中から1番大きいイモを見つけるために、イモの長さ比べをしたり、重さ比べをしたりしました。自分たちが収穫したイモを大切にしたり触ったりしながら「どれが長い？重い？」と見当をつけてくらべることで、いろいろな計器の使い方や見方を覚えることを中心に学習しました。「見た目と重さが違うイモがあった。」「天秤は下に傾いた方が重い。」など、活動を通して子どもたちはたくさんの発見をし、長さや重さの理解を深めました。

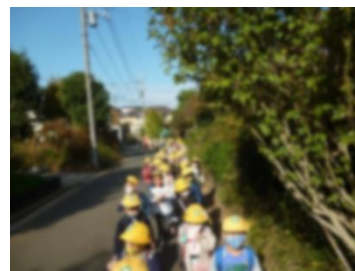
Bグループは、たくさんのイモの重さを量る方法を考えました。バケツに入った10個のイモを見て、「小さなはかりでは量れない！」との声。「じゃあ、どうする？」と問い返すと、「もっと大きなはかりが欲しい。」との声、さらに「一つずつ量るのは大変だね。」「まとめれば手間が省ける。」との意見も出ました。そこで、大きなはかりの登場です。イモの入ったバケツをそっと載せ、量ってみます。「ええと、3.2 kgかな。」

その後、はかったみんなの重さを合計し、バケツ4つ分の重さが13.5 kgだということが分かりました。この学習を通して、「はかるものの重さによって、はかりを選ぶとよい。」ということが分かり、残りのイモの重さも量って、今年とれた全てのイモの重さを知りたいという意欲も高まりました。



【 1年 舞岡公園遠足 11月13日 】

入学して初めての遠足に出かけました。「みんな ともだちげんきで なかよく まいおかこうえんへレッツゴー」というスローガンのもと、片道1時間以上の長い道りを全員がしっかり歩くことができました。



秋晴れの中、班で決めた遊び「だるまさんがころんだ」や自然探検などを楽しみました。また、オリエンテーリングでは、秋のものをさがしたり、協力して落ち葉で高い山をつくったりして、友達との時間を満喫しました。待ちに待ったおいしいお弁当も十分に味わい大満足。友達となかよく、楽しく過ごすことができた心に残る1日となりました。

【 2年 舞岡公園遠足 11月4日 】

舞岡公園遠足へ行ってきました。実行委員を中心に「みんなかがやく キラキラダイヤモンド えがおでげんきに しぜんいっぱい まいおか公園へ レッツゴー！」というスローガンをたてました。長い道りでしたが、最後まで安全に気を付けて歩くことができました。公園のけやき広場では、自然にたくさん触れることができ、子どもたちも満足そうにしていました。

「みんなで行けてよかったね。」「グループの友達となかよくできたよ。」といった子どもたちのつぶやきからは、友達とかかわることができた喜びを実感していることが伝わってきました。この経験をクラスや他学年の友達とのかかわりに活かしてほしいです。



【 4年 社会科体験学習 11月11日 】

秋晴れの中、東京バレエ団による『ドン・キホーテの夢』を鑑賞しました。表情と動きだけで物語の内容や感情が表現されることや、音楽と動きがぴったり合っていること、ダンサーの動きの美しさやジャンプ力などに驚きと感動を多く得られたようです。バレエを鑑賞することで感性を磨き、豊かな表現力を十分に味わうとてもよい機会となりました。

地下鉄のマナーを守り、静かに行動することができ、充実した一日になりました。



【 5年 社会科体験学習 10月30日 】

事前に実行委員を中心に「生き物について学び 思い出に残る社会科見学にしよう」というスローガンを立て、江の島地引網体験と水族館見学に行きました。

地引網では、漁師の方から魚の種類や湘南近海で捕れる魚を教えてくださいました。「この辺りで捕れる魚は何ですか？」と、身近な場所での生産量について興味をもって説明を聞くことができました。八景島シーパラダイスでは、事前にどのように見学するか計画を立て、団体行動のルールを学んだり、海の生き物がどんなものかを確認したりして、ふれ合ったりしながら楽しむ姿が見られました。

今回の学習では、実行委員がしおり作成や出発式などの活動を通して、みんなで学ぶ気持ちをつくり上げようとする姿もありました。これからの活動でも活躍する姿が期待できる体験学習でした。



【 7組 スペシャル遠足 10月27日 】

「なかよくつながれハート7いろくじら」というスローガンの下、4つのグループに分かれて、金沢自然公園（金沢動物園とこども広場）を小グループで散策しました。

おやつのお買い物学習や動物園での見学ルート決めなど、事前のグループ活動でも高学年のリーダーシップが見られ、活動を通しての意識の高まりや成長を感じられました。当日は、高学年を中心としたリーダー・時計係を始め、低学年が担ったお弁当やおやつタイムでのあいさつ係など、グループ内でそれぞれが役割を果たしながら活動を楽しみ、仲を深めることができました。



【 3年 戸塚区小学校児童音楽会に向けて 】

本校は、戸塚小学校・東汲沢小学校と3校で12月にビデオ交流することになりました。二部合唱「ハロー・シャイニング ブルー」、リコーダー奏「道」を演奏します。

「道」では、初めての低い音、レ・ミの指や息の使い方に気を付けたり、難しいフレーズに気付いて何度も練習したりして粘り強く取り組んでいます。「音が透き通っている」「音がまっすぐ」「合わさっていておもしろい」など範奏のよさを捉え、「この曲を美しく、きれいな音で演奏したい。」と、自分や友達の音色を聴きながら、一段階レベルアップした活動に取り組み始めました。



【 1年 スポーツフェスティバル 10月30日 】

リズムダンスでは、パンプキンのおばけになりきって、細かい振付まで一生懸命に踊ることができました。歌詞を自然に覚えるほど練習した成果を、みんなで気持ちをひとつにして表現することができました。玉入れでは、音楽に合わせて踊ったり、玉を遠くに投げたりして思いっきり身体を使って楽しみました。



【 3年 スポーツフェスティバル 11月10日 】

80メートル走では、去年より長い距離を力いっぱい走りました。また、赤と白のフラッグを用いて音楽に合わせて心をついに演技をしました。全速力で走っている友達を応援したり友達と動きを揃えてフラッグを振ったりする姿に、みんなでよいものを創っていこうとする思いが表れていました。



開会式や閉会式では、実行委員が自分の決意だけでなく仲間へのメッセージを伝える場面もあり、学年の団結がより深まりました。

【 6年 わずかな時間で集中して創り上げたスポーツフェスティバル 】

実行委員が何度も休み時間に集まり、この環境下でどんな工夫ができるかを考えました。軍手を使うことや玉入れの距離、リレーのルールなど多くのアイデアを出すことができました。また、休み時間を使って、動画を観てソーラン節の振付けを覚えたり、移動した後の隊形を確認したりして、時間を有効に活用し準備を進めました。全体での練習はわずか4時間でしたが、一人一人が「ソーラン節の伝統をつなげたい。」「成長を見せたい。」「初めての6年生としての行事を成功させたい。」という思いをもって、苦手な部分を繰り返し練習したり、友達どうして教え合ったりして集中して練習しました。その結果、当日はみんなで全力を尽くしてスポーツフェスティバルを成功させることができました。



専任だより

12月は「いじめ防止啓発月間」

横浜市では、12月の「人権週間」及び、「いじめ防止啓発月間」にあたり、だれもが安心して豊かに生活できる学校の実現に向けて「いじめ解決一斉キャンペーン」を実施しています。11月末から子どもたちにアンケートを実施し、子どもたち同士の日常の関わりを再点検しながら、必要に応じて話を聴いたり指導をしたりしています。個人面談もありますので、ご家庭でも気になること等ありましたら、ぜひ担任や専任にお話してください。学校を一人ひとりにとっての安心できる居場所にしていくために、挨拶や友達の呼び方、コミュニケーションのとり方について気を付け、よい関わりを増やしていくことが大切です。ご家庭でもそうした部分について話し合い、見直す機会にさせていただけたらと思います。

児童支援専任

☆☆☆☆☆☆

12月の予定

☆☆☆☆☆☆

☆ お知らせ ☆

日	曜日	行事予	下校予定 (学年別丸数字)					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火	短縮A(中20分) 4時間授業 個人面談(午後)	④	④	④	④	④	④
2	水	カウンセラー来校	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
3	木	短縮A(中20分) 7組鎌倉養護学校との居住地交流 4時間授業 ロング昼休み無し 個人面談(午後)	④	④	④	④	④	④
4	金	短縮A(中20分) 4時間授業 個人面談(午後)	④	④	④	④	④	④
5	土							
6	日							
7	月	短縮A(中20分) 4時間授業 個人面談(午後)	④	④	④	④	④	④
8	火	朝会(TV) 清掃・姿勢週間(11日まで) クラブ	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
9	水	カウンセラー来校 交流オリエンテーリング予備日	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
10	木	ベルマーク回収日①	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
11	金	3・4年引き取り下校訓練(6校時)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
12	土							
13	日							
14	月	1・2年引き取り下校訓練(5校時)	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
15	火	音楽朝会(TV) 5・6年引き取り下校訓練(6校時)	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
16	水	カウンセラー来校(AM)	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
17	木	校内授業研究会(5時間授業)	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
18	金	4年社会科体験学習(箱根) 5年スポーツフェスティバル(3校時) ロング昼休み	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
19	土							
20	日							
21	月	委員会	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥
22	火	5年スポーツフェスティバル予備日 仲良しロング(ロング昼休み)	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
23	水	カウンセラー来校 給食終了	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
24	木	短縮A(中20分) 午前授業(給食無し)	④	④	④	④	④	④
25	金	短縮B(中5分) 朝会 あゆみ配付 午前授業(給食無し)	④	④	④	④	④	④

【個人面談について】

11月30日(月)から5日間、個人面談を計画しています。これまでの学習や生活の様子、ご家庭での様子などについて情報交換し、これからの指導に生かしていきたいと思えます。詳しい日時は、先日配付した「個人面談のお知らせ(面談日時)」でご確認ください。また、お待ちいただく廊下がとても寒いので、温かい格好でお越しく下さい。

【あゆみ配付】

12月25日(金)にあゆみを配付します。12月までの学習状況や生活・行動の様子を見取り、新学習指導要領に照らして昨年度までとは異なる観点で評価しています。お子さんと一緒に4月からのことをふり返り、頑張りを認め、新たな一歩を気持ちよく踏み出せるようぜひ励ましてください。また、裏表紙にある「家庭から」の欄にコメントを記入していただき、押印の上冬休み明けにご提出ください。

☆☆☆☆☆☆

1月の予定

☆☆☆☆☆☆

日	曜日	行事予定	下校予定 (学年別丸数字)					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
5	火	冬季休業						
6	水	短縮B(中5分) 朝会(TV) 午前授業(給食無し)	④	④	④	④	④	④
7	木	短縮A(中20分) 午前授業(給食無し)	④	④	④	④	④	④
8	金	短縮A(中20分) 午前授業(給食無し)	④	④	④	④	④	④

【冬季休業】

冬季休業は、12月26日(土)～1月5日(火)となります。わずかな期間ですが、健康や安全に気を付けて過ごせるよう、ご家庭でのお声かけをお願いいたします。